

OPM 音色レジスタ編集ツール

hoot 上の OPM レジスタを直接書き換えることができるツールです。

任意の値を入力し、右下のボックスで対象トラックを選択してから Enter キーを押すと、入力したパラメータに対応するレジスタ値のみ hoot に送信されます。すべてのレジスタ値を送信したい場合は右下の「全レジスタ送信」を押してください（多少時間が掛かりますのでご注意ください）。

なお、書き換えた値はドライバのワークエリアや曲データのバイナリには反映されませんので、@ コマンド、P コマンド、音量コマンドが実行されると演奏内容が元に戻ってしまいます。対象トラックの先頭で I コマンド、I@ コマンド、IP コマンド、IV コマンドのいずれかを使用して対処してください。

必ず hoot で NRTDRV 用データを再生しながらパラメータを送信してください。それ以外のときに送信すると正しく動作しません。

■一連の流れ

1. 音色を編集したい MML トラックの先頭に I コマンドを埋め込む
- 2.MML をコンパイルし、hoot で再生する
3. このツールを立ち上げる
4. 編集したい音色を左下のボックスから選択し、「音色呼出」を押す
5. 対象トラックを右下のボックスから選択し、必要ならば「全レジスタ送信」を押す
6. 任意のパラメータを編集し、そのたびに Enter キーを押して反映させる
7. 編集が完了したらテキスト生成ボタンを押す
8. テキストボックスから音色定義テキストをコピーする（注：Ctrl+A は効きません）
- 9.MML に貼り付ける